

教育行政のプロ 採用しています

子どもたちの65%は、大学卒業時に今存在していない職業につく

ニューヨーク市立大学 キャシー・デビッドソン教授

今後10~20年程度で、半数近くの仕事が自動化される可能性が高い

オックスフォード大学 マイケル・オズボーン教授

戸田市では、予測困難な時代に生きる子供たちに最先端で効果的な教育環境を提供するため、事務（教育枠）の募集を行います。

グローバル化や情報化が進み、加速度的に変化していくこれからの時代に向けて、子供たちにどのような力を身につけさせることが必要かを考え、そのための教育政策を実践していくことが今の教育に求められています。

戸田市教育委員会では、民間企業や大学、研究機関やNPOなど、産官学民の知のリソースを積極的に活用した、新しい学びに向けた最先端の教育改革を実施しています。また、効果的・効率的な教育を学校現場で実践するため、様々な共同研究や学力調査・教員調査をもとにしたエビデンスベースでの教育政策立案を進めてきており、今後さらに、このEBPM（Evidence Based Policy Making）を教育改革の軸としていくために、「教育政策シンクタンク」の立ち上げを予定しています。

このような取組も含め、教育行政が複雑化、専門化、多様化していく今、教育行政に専門的な知見や現場への理解を持ち、かつバランス感覚に優れた教育委員会事務局職員の資質・能力の向上が不可欠となっています。

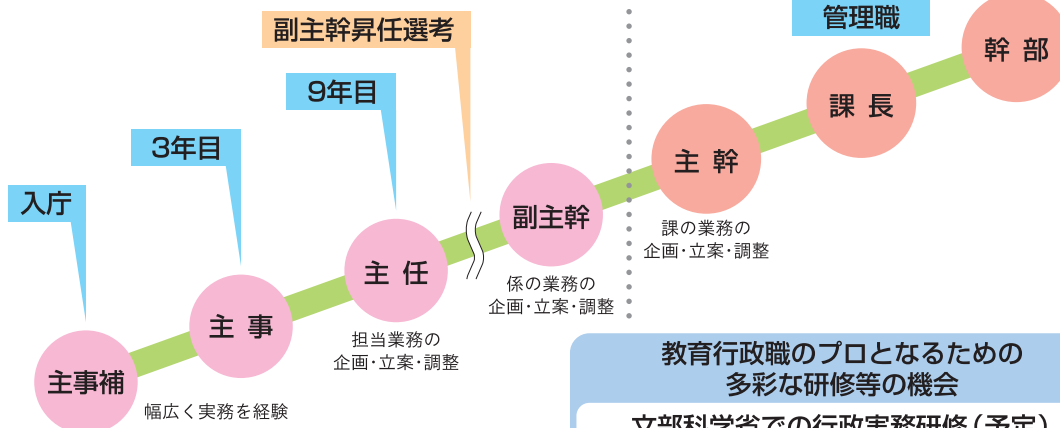
そこで戸田市では、平成29年度から事務（教育枠）採用を開始し、これまでに教育委員会を中心に経験を積み上げていく職員（教育行政のプロ）を5名採用しました。

本年度は、教育行政に専門的な知見や現場への理解を持ちながら、福祉部門や財政部門など様々な行政分野で経験を積み、活躍が期待できる人材を、同様の枠組みで募集します。教育行政に加えて様々な行政分野で力を発揮したい方の積極的な御応募をお待ちしています。

事務（教育枠）採用者のキャリアパスイメージ

教育部局への配属によるキャリア形成を基本としつつ、市長部局への異動も織り交ぜることで、教育行政のプロに求められる資質・能力を育成する

身に付けたスキルや市長部局とのつながりを駆使し、戸田市の教育振興をつかさどる



教育行政職のプロとなるための
多彩な研修等の機会

文部科学省での行政実務研修（予定）
民間企業との連携による多様な研修等

* 教育長からのメッセージ：戸田市から国の教育行政を動かす人財を



戸田市教育委員会
教育長

戸ヶ崎 勤

- ・ 文部科学省
全国的な学力調査に関する
専門家会議委員
- ・ 中央教育審議会
教育振興基本計画部会委員
- ・ 文部科学省
未来の学びコンソーシアム
運営協議会委員
- ・ 経済産業省
「未来の教室」とEdTech
研究会委員
- ・ 内閣官房
教育再生実行会議 技術革新
ワーキング・グループなど

戸田市は、国内では少子高齢化が危惧される中、今後も人口増加が続くことが予測されています。平均年齢が40.8歳と24年連続で県内一若く、さらに、JR埼京線（新宿まで20分）、首都高速5号線、東京外郭環状道路などの交通網を基盤として、産業も活発であり、人の利と地の利に恵まれた、将来にわたって持続可能なポテンシャルの高いまちです。

こうした特性を踏まえて、戸田市では戦略的に施策を展開しています。特に、地方創生とまちづくりの有効な手段として、教育や子育てをシティーセールスとしています。すでに、子育てにおいては、県内初の子育て施策が充実したまち「埼玉県地域子育て応援タウン」に認定されています。教育においては、予測困難な今後の時代に向け、本市の子供たちに「人工知能では代替できない能力」と「人工知能を活用できる力」を身に付けられるようにしたいと考えました。そのために、産官学民の知のリソースを積極的に活用しながら、21世紀型、汎用的、非認知の3つのスキルの育成を目指した教育改革を現在推進しています。

そのプロセスにおいて、市の中の限られた知見だけではなく、国内外の企業やNPO、文部科学省などの中央省庁や大学、国立情報学研究所などの研究機関といった、いわゆる産官学民と積極的に連携しています。それも、ファーストペンギンを目指し、専門的な見地から幅広く様々な知見を取り入れることで、安価で効率的な質の高い学びを提供し、名実ともに「教育のまち戸田」を実現させているところです。これらの先進的な取組は、県内はもとより県外自治体や文部科学省からも注目いただいております。

そんな「教育のまち戸田」の教育行政を中枢で担い、将来的にも牽引していく「人財」を求めています。そして、戸田市から国の教育行政を動かして欲しいと強く願っています。そんな気概と教育愛を持った方々の御応募をお待ちしています。

* 次長(兼)教育政策室長(文科省出向)からのメッセージ



次長(兼)教育政策室長

清水 彩子

平成18年に文部科学省に入省。これまで、財務省主計局への出向のほか、様々な初等中等・高等教育の施策立案を担当。直前はカリフォルニア大学総長本部客員研究員。平成30年度より現職。

戸田市は、常に学び続け、挑戦し続ける自治体です。これほど目的志向、チャレンジ志向の教育委員会はなかなかありません。産官学民との連携による最先端の学び、教育とテクノロジーの融合、エビデンスベースでの政策立案など、公教育のフィールドを活かした様々な挑戦ができます。「未来はどのような社会で、子供たちに必要なスキルは何か。そのためにどのような改革を進めるのか。」この原点に常に立ち返りながら、皆で知恵を出し合って改革を進めます。戸田市で最先端の取組に挑戦し、その成果を全国に発信していきましょう。

* 東京大学大学院教育学研究科 村上准教授からのコメント



東京大学大学院
教育学研究科

村上 祐介 准教授

教育行政等に関する日本の第一人者で、専門分野は教育行政学・行政学。主に教育委員会制度や地方教育行政を分析対象にしている。

「自治体で教育行政の仕事がしたい」

これまで公務員試験に合格して自治体職員に採用されても、こうした希望が叶えられるかは運次第でした。ごく少数の都道府県では教育行政職の採用がありますが、小・中学校の教育を直接支える市町村では規模が比較的小さいこともあって、「教育行政のプロ」の行政職員を育てることが難しいのが現状でした。

平成29年度から戸田市では基礎自治体として全国ではじめて教育行政職採用を開始しました。地方教育行政にとって極めて画期的な取組であることは間違いありません。これからは国だけではなく自治体でも、「教育」

だけでも「行政」だけでもない、「教育行政」のプロが求められる時代になると思います。日本の教育の未来を先取りした戸田市のチャレンジに大いに期待しています。

教育委員会各課の紹介

◆ 教育総務課

奨学金や快適な学習環境でとどっ子の学びをサポートします

教育総務課では、奨学金や海外留学奨学資金を給付したり、学校の施設整備を行ったりするなど、ソフトとハードの両面からとどっ子の学習環境をサポートしています。

現在、老朽化した隣接する小・中学校の校舎を取り壊し、小中一貫校を建設する計画が進んでいます。それに向けて設計業者と調整したり会議を開催したり、様々な折衝を行っています。

◆ 学務課

転出入や通学路・学校保健など、安全と安心を守ります

学務課は、就学や転出入の手続等、小・中学生一人一人の学籍を管理するという重要な役割を担うだけでなく、安全な通学路の確保や中学校の学校選択制など様々な業務を担当しています。

また、平成29年4月の法改正で設置が努力義務化されたコミュニティ・スクールについては、平成30年度から市内全校に設置し、その運営をサポートしています。

▼ 事務(教育枠)採用者のコメント



根本 益海

* 教育政策室 主事補 (平成30年度入庁)

大学・大学院で教育行政学を専攻し、「学校と直接関われる教育委員会で行政の仕事がしたい」と考え、事務(教育枠)に応募しました。普段の業務では、指導主事とチームを組んで様々な共同研究を進めていますが、事務面だけでなく、教育内容の面においても研究に関われる機会が多く、たくさんの刺激をいただいています。そのような中で、学問として学んだ教育行政に関する理論等を頭に置きつつ、実際に施策を展開する難しさややりがいを、日々感じています。

* 教育政策室 主事補 (平成30年度入庁)

大学時代は心理学を学びながら、非行や不登校、キャリア教育に関わる活動をしていました。現在はそれらの経験を踏まえ、「子供たち一人一人の多様な教育的ニーズに応える」という考えのもと、産学と連携した特別支援教育の推進を担当しています。民間企業や大学の専門的で科学的な知見を公教育に導入することで、より多くの子供へ質の高い教育を届けることができると実感しています。



藤本 恵美



中村 篤

* 教育政策室 主事 (平成31年度入庁)

前職は、大学生向けのキャリア教育・就職支援に関するサービスの企画・営業をしてきました。大学生活や就職で苦しんでいる学生と日々接する中、もっと早くから学校と社会を繋げられたらという想いが募り、事務(教育枠)にチャレンジしました。現在は、正解の見えない変化の激しい未来でも子供たちが活躍していけるよう、新たな学びの一つとして注目されている「プロジェクト型学習(PBL)」の推進担当をしています。産官学民で連携をしつつ、いつか戸田市から全国に発信できる事例を作っていきたいです。

* 教育政策室 主事 (平成31年度入庁)

前職は教育系の民間企業で、学校の課題解決を支援する業務に携わっていましたが、戸田市の教育改革に強く惹かれ、事務(教育枠)採用に応募しました。現在はEBPMに必要なデータの整備・分析やPDCAサイクルの基準となる教育振興基本計画の作成などに携わっています。戸田市の先進的な取組を推進し、さらに根拠をもって全国に発信していくことで、戸田市の子ども、ひいては全国の子どもに教育的価値を提供していきたいと考えています。



山本 典明



藤井 りさ

* 教育総務課 主事補 (平成31年度入庁)

前職は他の地方自治体で、一般行政職として教育に携わっていましたが、より深く教育行政の仕事に携わっていきたくて考え、「教育行政のプロ」を目指すことができる戸田市の事務(教育枠)採用に応募しました。現在は、中央省庁をはじめとして、産官学民の教育の第一人者の方々とお付き合いのある教育長の秘書業務に携わることで国内外の最先端の教育について日々学んでいます。チーム教育委員会として、行政職と教育職が力を合わせて戸田市の子供たちのために教育改革を推進しており、その環境で仕事ができることにやりがいを感じています。

◆ 教育政策室・教育センター

戸田市の教育改革がとどろきの明るい未来を切り開きます

教育政策室は、多様で先進的な取組でとどろきの確かな学力を育成しています。産官学民と連携することで、教育委員会だけでは実現することができない、科学的根拠に基づく教育政策の展開やプログラミング教育など様々な事業を実現しています。

また、教育センターでは教職員の研修や教育相談の実施など、より教育現場に近い業務を行っています。

◆ 学校給食課

おいしい給食でとどろきの健康な心身を育みます

学校給食課では、市立小・中学校の児童生徒に安全、安心でおいしい給食を提供しています。埼玉県産の食材を多く使用する地産地消にも力を入れており、給食を通して児童生徒が、生産者や調理員など働く人々への感謝の気持ちや、食への関心を持ってもらえるように工夫しています。

◆ 生涯学習課

生涯にわたる学びをテーマに事業を行っています

市民の皆さんの学習活動を支援するため、各種の生涯学習関連事業のほか、人権教育の推進、家庭教育の支援、市内に41ある文化財の保護、関連施設の管理運営などを行っています。公民館は絵手紙・料理などの講座を行ったり、サークル活動の場になったりすることで、地域交流の拠点になっています。

学校を卒業した後も学びたいという皆さんのニーズに応えるため、市民大学など様々なメニューを準備しています。

◆ 図書館・博物館

市民の学習意欲に応えます

図書館・郷土博物館では、多種多様な資料を保有する図書館や戸田市の歴史などに関する資料を収集、保存、展示等を行う郷土博物館だけでなく、戸田市の自然を紹介する彩湖自然学習センターも運営しています。

戸田市が進める教育改革の一端を紹介します

◆ 学校現場への「SEEP」の浸透

S: STEAM (Science, Technology, Engineering, Art and Math) …理数等の分野を中心とした教科等横断的な学び
E: EBPM (Evidence Based Policy Making) …エビデンスベースの教育政策立案
E: EdTech (Education × Technology) …教育とテクノロジーの融合
P: PBL (Project Based Learning) …プロジェクト型学習

◆ 「戸田市教育政策シンクタンク」の設置

優れた教育政策や教育実践を科学的根拠に基づき検証し、データを蓄積・発信していくための組織として「戸田市教育政策シンクタンク」を立ち上げました。

◆ 産官学民との連携による「PEERカリキュラム」の開発

グローバル化や情報化が進む変化が激しい社会で生き抜いていく力をとだっ子に身に付けさせるため、産官学民との連携により、課題解決能力やITスキルなどの「21世紀型スキル」、知識や技能を現実社会で使いこなすための「汎用的スキル」、やり抜く力や自己肯定感などの「非認知スキル」と呼ばれる能力を小中一貫した教育プログラムによって育成しています。

P Programming プログラミング教育

ベネッセ、インテル、Google、Microsoftなどの民間企業と連携し、他の自治体に先駆けてプログラミング教育に取り組んでいます。様々な教材を通じて「プログラミング的思考」を育成しています。

E English 英語教育

国の認可を受けて、小学校1年生からコミュニケーション能力向上を重視した英語教育に取り組んでいます。また、小中9年間の総まとめとして、中学3年生を対象に英検3級受験費用を全額助成しております。平成30年度の英検3級以上取得率は58.8%になりました。(国の平均は23.9%)小中一貫英語教育を通して、グローバル世界で活躍できる人材を育成しています。

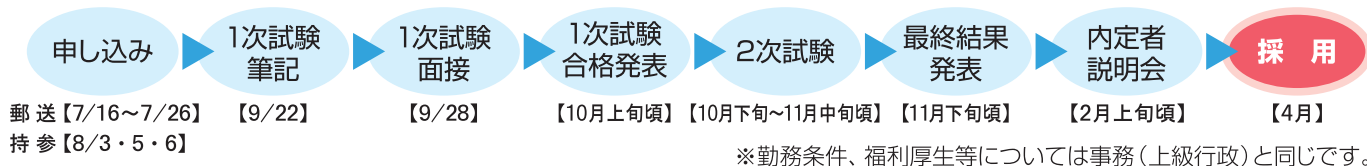
E Economic Education 経済教育

社会の仕組みや経済の働きについて、身近な題材を通して体験的に学び、よりよい生き方について考えます。児童生徒に考える習慣を身に付けさせ、「質の高い選択ができる力」を育てています。

R Reading Skill リーディングスキル

「ロボットは東大に入れるか？」で有名な国立情報学研究所の新井紀子教授と連携し、リーディングスキルと呼ばれる基礎的な読む力の調査・研究を進めています。今後、研究の成果を活用し、指導方法の研究を進め、とだっ子の読解力を高めていきます。

■ 採用までの流れ (事務(上級行政)と同じです)



● 戸田市の教育に関するお問い合わせ

戸田市教育委員会教育総務課 048-441-1800 (内線305)

戸田市教育委員会のHP
<http://www.toda-c.ed.jp/>

戸田市教育委員会のFacebook
<https://www.facebook.com/todaedu/>



● 戸田市の職員採用試験に関するお問い合わせ

戸田市総務部人事課人事担当 048-441-1800 (内線511)

戸田市職員採用のHP
<http://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/153/jinji-saiyou-top.html>

戸田市職員採用のFacebook
<https://www.facebook.com/todasaiyou>

